夢 タウン まつぶし

議会だより

第90号
平成27年7月27日発行

6月定例議会

● 議員の仕事 ……2P
● 議案審議 ……4P
● 意見書 ……4P
● 一般質問 ……5P
● 委員会報告 …… 11P

議員の仕事 来年は町議選 町と住民を

町の議会は男性・女性・長老・若者など、バランスよく構成されていることが必要です。平成28年４月に議員選挙があります。多くの方に出馬していただきたく特集を組みました。

議会活性化特別委員会では、無投票や低投票率が続く近年の状況から、議員の報酬について協議しました。

町民の平均年齢は44歳であるのに対し、松伏町議会議員の平均年齢は約62歳です。

町全体では、他市町村への転出者は20歳から34歳と若者が多く、転出者の半数を占めており、このように人口問題は町の課題となっています。松伏町もみんなが住みたい町にしていきたいものです。先の全国統一地方選挙の町村議会の選挙では1/4が無投票でした。

新潟県立大学の田口准教授は「議員では生活ができないので引退したという話を聞いた。生活できる程度の報酬がないと若者や現役サラリーマンが議員になるには厳しい」と話しています。関東の町村議会の報酬は、人口２万人以上の36町村の平均では、26万5805円です。神奈川県の町村議会議員の平均報酬は月額30万円を超えております。

地方創生元年の本年より、ますます議員が力をつけ発言力や政策力をもってまちづくりに励んで行く時代です。来年４月は、いよいよ町議会議員の選挙が予定されています。町民のみなさんと立候補できる環境を共に考えていきたいと思います。

町議会議員は、町議会を構成して、町民の意志を町政に反映させるため、町民生活のいろいろな問題についてきめ細かく調査します。その内容を審議してどう処理すべきかを決めています。

結ぶ働き手になってみませんか

町民からのよくある質問

質問１　議員の報酬（月額）

答　議　長　312,000円
副議長　255,000円
議　員　235,000円
その他、期末手当は６月と12月合わせて4.1ヶ月あります。

質問２　議員年金や退職金

答　平成23年６月、議員年金は廃止されました。退職金もありません。

質問３　政務活動費

答　政策のための研究・調査費です。松伏町は月１万円が出ています。月額数十万円出ている市や県などとは比べられません。
支出の内容は、町のホームページで公開されています。

質問４　年間どのぐらいの活動量か

答　定例議会は３月・６月・９月・12月です。その他、委員会活動は、常任委員会（二つ）、特別委員会（二つ）、議会運営委員会、一部事務組合議会、その他、行政調査などがあり、個人的な活動を含めると数字では表すことはできません。

質問５　選挙に出るにはお金が必要か

答　市議選や県議選では供託金制度がありますが、町議会では供託金はありません。個人支出は、法で定められた範囲内で選挙活動をします。

質問６　会派

答　政党や同じような考え方や意見をもつ議員は、自分たちの考えを効果的に町政に反映させるため、グループを作って活動しています。このグループを『会派』といいます。

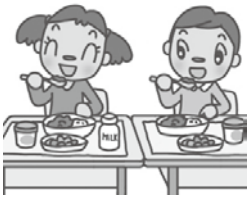
議案審議

給食センターほほえみの炊飯器（6,048万円）可決

問　なぜ買い替えるのか。能力は。競争入札は行ったのか。災害時は利用できるのか。

答　**教育総務課長**　経年劣化がひどく修繕費が掛かっていた。3500食分の炊飯を１時間で炊き上げる事ができる。10社の指名競争入札を行った。

答　**総務課長**　災害時は備蓄品を利用し、日赤奉仕団、自主防災などでの炊き出しで行う。防災計画の中での利用は考えてない。



マイナンバー制度の導入（補正予算870万円）可決

問　当初予算と合わせて1993万円となる、マイナンバー制度の導入は町民に何のメリットがあるのか。

答　**企画財政課長**　社会保障の給付等でいろいろな添付書類がいらなくなりサービスの効率化が図れる。受給などで不正が防止され公平公正な行政運営が可能になる。

問　情報漏えいはどう防ぐのか。

答　**企画財政課長**　住民情報等のパソコンは、外部と接続してない。メールを受けるパソコンはシステム上も分離されている。

二つの意見書を審議

安保法案の廃案を求める意見書　（否決＝賛成４、反対９）

（要旨）安倍首相は、アメリカの起こす戦争に参加できることを可能にする法案を提出した。衆議院憲法審査会の参考人に招かれた、政府与党推薦、民主党推薦、維新の党推薦の３人の憲法学者はそろって『憲法違反』との見解を述べた。廃案にすることを強く求める。

国は地方自治体が行なう『医療費助成』を理由に減額措置しないことを求める意見書（可決＝全員賛成）

（要旨）全国で、重度心身障害者、子ども、母子家庭等の経済的負担を軽減し、安心して医療が受けられるよう医療費の自己負担を補助する地方単独の医療費助成を実施している。
国は、この医療費助成の取組に対して減額措置しているが、社会的に弱い立場にある人への支援や子育て環境づくりの取組を阻害するものであり、見直すよう強く要望する。

意見書の賛否　議員名 ／ 件名	山﨑 善弘（自）	荘子 敏一（新）	川上 力（公）	佐々木ひろ子（公）	渡辺 忠夫（自）	松岡 高志（自）	佐藤 永子（自）	髙橋 昭男（自）	鈴木 勉（無）	福井 和義（無）	鈴木 勝（町）	堀越 利雄（町）	長谷川真也（町）	吉田 俊一（共）	広沢 文隆（共）	
安保法案の廃案を求める	議長	○	●	●	病欠	●	●	●	○	●	●	●	●	○	○	否決
「医療費助成」を理由に減額措置しないことを求める		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

（○＝賛成、●＝反対）（会派名）自＝自民の会、町＝町民クラブ、公＝公明党、無＝無所属クラブ、共＝日本共産党、新＝新自民クラブ

町政に関する 一般質問の主題

議員が町政を問う

一般質問の会議録全文は
町のホームページから検索できます

荘子　敏一
○働き世代の生活支援

川上　力
○災害対策の充実　○投票率の向上
○町民と協働のまちづくり
○記念の婚姻届を手元に

鈴木　勝
○新市街地開発の進め方
○レイクタウンに５市１町のアンテナショップの出店を提案をせよ
○防犯カメラを増設せよ

福井　和義
○安全でおいしい自校方式給食に

堀越　利雄
○学校教育における非行対策
○消滅可能性自治体と活性化対策

松岡　高志
○橋梁等公の営造物の保守、管理、事故防止対策は
○松伏総合公園横の水路の安全管理は
○生活困窮者への町の対応は
○町の地方創生事業の「お知らせ」を作成せよ
○「松の木橋」由来の一本松の復活を

広沢　文隆
○75歳以上高齢者の医療費、自己負担をゼロにする
○すべての小中学校の教室にエアコンを設置せよ

佐々木　ひろ子
○障がい者施策　○生活困窮者への支援
○健康推進奨励金

長谷川　真也
○排水路清掃
○学校の不審者対策
○多目的公園の施設

鈴木　勉
○更なる介護予防事業の展開を目指した介護予防とリハビリに特化した町直営デイサービス事業の開設を
○定年退職者等の完全補充と人員対策、人事の適正化を

吉田　俊一
○高齢化がすすむなかで交通不便地域の対策を急ぐべきだ
○八間堀悪水路の泥しゅんせつ

佐藤　永子
○子育て支援
○女性が活躍する社会の実現

荘子　としかず（新自民クラブ）

Q 松伏町独自の若者施策を展開せよ

A 法で決められた制度を活用する

問　松伏町では、稼働年齢層（15歳～ 64歳）の生活困窮者の実態は調査しているのか。

答　**福祉健康課長**　生活困窮者という定義の性格上、正確な実態を把握するのは困難である。

問　福祉事務所を有しない松伏町は、生活困窮者自立支援法で新たな業務が増えるのか。

答　**福祉健康課長**　自立相談支援、住宅確保給付金、学習支援が増える。

問　非正規雇用労働者、ニート、引きこもり等の20歳代から30歳代の若者を支援する町独自の施策を考えないのか。

答　**福祉健康課長**　生活困窮者自立支援法は、ニート、引きこもりや、20代、30代に特化した法律ではない。ニート、引きこもりに陥る背景に、多くの場合、精神の病や、知的障がい、発達障がい、精神障がい等に起因するから、障がい福祉事業で自立を支援していく。

問　若者のニーズを把握し、支援を必要とする若者に責任を持つ担当者を配置する必要があるのではないか。

答　**福祉健康課長**　自立相談支援に当たる「アスポート相談支援センター埼玉東部」に、相談支援員が配置されており、そちらにお願いする。

～～今なぜ、若者政策が必要なのか～～

川上　力（公明党）

Q 投票率向上に期日前投票の改善を

A なりすまし等の対応を調査し検討

問　期日前投票の宣誓書の事前記入を導入して、投票率向上と町民の利便性を向上せよ。

答　**総務課長**　近隣市の「なりすまし」や「二重投票」への技術的対応を調査し検討していく。

問　災害時の避難所は要配慮者や女性への配慮のため学校体育館だけで足りるのか。教室使用についてはどうなっているか。また、ガソリンの優先供給などの災害協定はできているのか。

答　**総務課長**　体育館の他に教室等を使用することができれば、災害時において要配慮者や女性への配慮も行き届くため、積極的に教室の使用に努めていく。ガソリンの優先供給の災害協定について、具体的な方法も含め今後、調査・研究していく。

問　松伏町住民活動補償制度の更なる充実と周知を

答　**総務課長**　近隣市の加入状況、実績件数による保険料の推移等を調査し補償内容を検討していく。また、毎年度広報まつぶしに掲載するなど、更なる周知の充実を図る。

問　東京都葛飾区は二人が思いを込めて書いた婚姻届を記念として残すため、お互いへのメッセージも書けるような複写式の届出書を作り住民サービスを開始した。町でも導入せよ。

答　**町長**　町のPRの度合いも含め、今後の課題として研究していきたい。

鈴木　勝（町民クラブ）

Q 新市街地の開発をどう進めるか

A 住民の方との話し合いで進める

問　平成24年10月にこの地区の方々にアンケート調査をおこなった。主な内容と集計結果は。

答　**新市街地整備課長**　地権者631件、119.26haの調査を行った。将来の土地利用の意向は、現状のままが約半数、変更したいが約４割であった。

問　なぜ、調査に協力した方に公表しないのか。

答　**新市街地整備課長**　本調査は個々の地権者がどのような意向を持っているかが特定できる内容であった。また、外部からの開発圧力をうけ、土地利用の障害となる恐れもあった。

問　今後の開発を見据えて、地元の方への説明が必要ではないか。また、検討委員会には地元の人も入れよ。

答　**新市街地整備課長**　地元住民の方々を交えた話し合いを開催していく等、必要に応じて公表していく。自治会長や農家代表の方等も入っていただく。

防犯カメラの設置について

問　防犯カメラは犯罪の抑止力になる。公共施設内に防犯カメラはいくつある。増設も必要ではないか。

答　**総務課長**　役場内22台、中央公民館４台、中学校13台、小学校５台等、合計68台がある。

問　住民要望では公園等への取り付けも希望してる。

答　**総務課長**　施設内の安全管理が目的である。

レイクタウンに５市１町のアンテナショップを

答　**環境経済課長**　５市１町の観光振興につながるため、東南部都市連絡調整会議で提案していく。

三郷市　吉川市　松伏町　越谷市　八潮市

４市１町の地酒１ヶ所のアンテナショップで購入できるといいな

福井　和義（無所属クラブ）

Q 安全でおいしい学校自校方式給食

A 多額の経費がかかり変更は厳しい

問　幸手市立権現堂川小学校で「１番楽しいのは何の時間」「給食の時間」と即答された。
温かく、おいしい心のこもった給食を毎日食べられるからである。
子どもたちの元気な声が聞こえてくる。
「幸手先生おはようございます。昨日の給食はおいしかったです。もう１杯おかわりしたかったです。」
「ありがとう。今日もおいしい給食をいっぱい作りますので、いっぱい食べてね。」
朝の登校時の挨拶にも、子どもたちの成長を願って、おいしい給食を作ろうとする意欲と、子どもたちの感謝の気持ちが表れている学校自校方式給食である。
４時間目の体育が終わり、腹ペコで教室に向かう時、調理室から、おいしい匂いがプーンとしてきた。今日の献立はさくさくコロッケだ。
「いただきます。」さくさくコロッケにソースをいっぱいかけて、あっと言う間に食べた。
調理員の心のこもった手作り学校自校方式給食は、子どもたちの大好きな時間である。
学校自校方式給食をどのように考えているのか。

答　**教育総務課長**　学校自校方式給食の長所は十分認識しているが、施設設備の整備や人件費に多額の経費がかかり変更は厳しい状況である。

うまい！自校方式給食は楽しい

堀越　利雄（町民クラブ）

Q 学校教育における非行対策は

A 道徳的な価値観を繰り返し教える

問　松伏町の小・中学校での非行対策は。

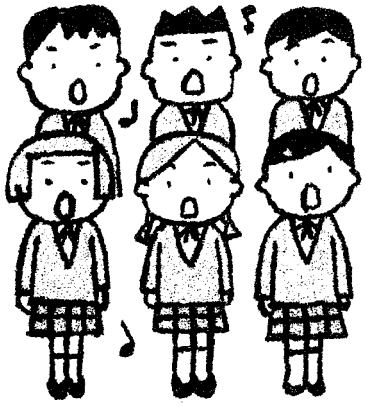
答　**教育総務課長**　非行傾向が心配される児童生徒については、各校に設置されている生徒指導委員会において、管理職、関係主任が対応を検討する。また、全職員が共通理解を図り、該当児童・生徒に対し共通指導を行っている。

問　身体が大きくなった中学生よりも、小学生のときに徳の教育による人格形成をすることが大事だ。どのような徳の教育を行っているのか。

答　**教育総務課長**　道徳教育は週１時間行っている。命を大切にする心、他人を思いやる心、善悪の判断などの道徳性を身につけることなど、人格の完成を目指す教育の目的から大変重要な位置を占めている。

問　近隣市町から教育環境が良いと評価の高い松伏町で、昨年度に一部生徒による逮捕事件があった。教育長の見解は。

答　**教育長**　大変申しわけなく思っている。子どもたちの心をどう育成するかというのは永遠の課題であるが、その大部分は幼児期に完成すると言われている。幼児期の家庭教育にも影響があるが、学校では道徳的価値観を繰り返し何十回でも教えていく。



明るく仲良く

松岡　たかし（自民の会）

Q 松の木橋由来の一本松の復活は

A 植樹場所や時期を検討して植える

問　子どもたちの未来のためにも「松の木橋」の名称由来の一本松の復活が望まれる。町の考えは。

答　**町長**　橋の名前の由来でもあり、松の木は金杉小学校に通われた方、地域の方の心の中にも生えている木である。今回はしっかり植える場所を検討して、長く生きられるよう研究して植える。

問　町の地方創生7事業の取組みについて「お知らせ」を作成してはどうか。

答　**企画財政課長**　今年度策定する「総合戦略」の内容を入れ、地方創生事業のリーフレットの作成を予定している。地方創生に関する町の考え方やアンケート調査結果の概要、具体的な事業の概要を掲載していく。

問　松伏総合公園横の水路の安全管理の考えは。

答　**まちづくり整備課長**　機会あるごとに見回りをし、必要に応じて啓発看板の増設を検討する。

答　**教育総務課長**　学校における注意喚起は、水路の通水等の通知や国の水難事故防止の啓発通知に基づき指導している。7月の校長研究協議会で、水難事故防止の徹底について改めて指導していく。

問　老朽化した橋梁の管理に瑕疵があるとき、自治体の責任が問われる。安全確保のための対策は。

答　**まちづくり整備課長**　老朽化設備全ての修繕は不可能。日常点検や町民の通報により、異常があった場合の修繕や撤去などで安全確保に努める。

金杉小学校横の中川に架かる松の木橋

広沢　文隆（日本共産党）

Q 来夏の普通教室はエアコン完備で

A 有効な補助金あれば活用も考える

問　文部科学省の「学校環境衛生基準」には《教室等の温度は10℃以上、30℃以下が望ましく、毎授業日に点検を行うもの》とある。昨年夏、松伏小中５校の教室の温度は何度だったのか。

答　**教育総務課長**　室温の記録は残していない。気象庁の越谷市データでは夏休み以外の６～９月で30℃以上が31日、最高36.6℃だった。

問　不履行は今夏、是正すべきだ。現状の普通教室へのエアコン設置はどうなっているのか。

答　**教育総務課長**　小中５校の普通教室89の内、エアコン設置は松伏小学校の５教室だけ。

問　町の公共施設27の内、学校ほか２施設以外は全て完備している。他市町では、国の補助金などをタイミングよく活用するとか長期のリース事業にするなど、安価に短期間で設置している。町長として、『来年の夏は全小中学校の普通教室にエアコンを完備させよう』との意気込みでの検討はできないのか。

答　**町長**　普通教室の環境は大事だ。町は教育部と相談し、二中が最後になるが大規模改修を計画的に進めてきた。しかし有効な補助金があるならば大規模改修よりエアコン設置を優先することも考えられる。

（他に、「75歳以上の高齢者の医療費は、自己負担をゼロ（無料化）にすること」を求めました。）

普通教室のエアコン設置状況

平成27年４月１日現在）

	普通教室（普通学級+特別支援学級）	
	学級数	設置室数
松伏小学校	32	5
松伏第二小学校	18	ゼロ
金杉小学校	9	ゼロ
松伏中学校	13	ゼロ
松伏第二中学校	17	ゼロ
計	89	5

佐々木　ひろ子（公明党）

Q 手話言語条例の制定でまちづくり

A 3県15市町村が制定した

問　町議会も昨年９月に手話言語法の制定を求める意見書を国に提出した。手話は言語である。条例を制定して、町民の理解を広めてはどうか。

答　**福祉健康課長**　全国的な広がりを見せている。県や近隣市町の動向を注視していく。

問　視覚障がい者の学習支援や学校生活の支援を。

答　**教育総務課長**　最大限に支援していきたいと考えている。

生活困窮者の支援強化せよ

問　窓口を設置しても、失業者や病気、引きこもりで生活が困窮している人は、なかなか窓口にたどりつかないのではないか。支援策を考えよ。

答　**福祉健康課長**　他市では、コミュニティーソーシャルワーカーを設置している所もある。松伏町でも可能か研究する。

子どもの貧困対策を強化せよ

問　子どもの貧困が負の連鎖を招く。対応せよ。

答　**福祉健康課長**　県が学習支援の巾を広げている。

健康推進奨励金制度を創設せよ

問　岡山県総社市では１年間保険診療を受けなかった世帯に、条例をつけ１万円渡す制度を作った。

答　**住民保健課長**　総社市では、特定健診の受診率も上がったと聞いている。何か方法を考えて行きたい。

長谷川　真也（町民クラブ）

Q 排水路の悪臭、汚泥に対処せよ

A 清潔な生活環境の確保に努める

問　排水路の悪臭や虫等の問題を問う。

答　**まちづくり整備課長**　排水路の現状を確認し、除草や堆積物などの撤去を実施している。快適な生活環境を保つためには、自治会などの協力無しでは難しい状況だ。難しい個所や危険を伴う個所は、必要に応じ対応する。

問　排水路の路線ごとの一斉清掃を問う。

答　**まちづくり整備課長**　各排水路の草や汚泥堆積などの状況を確認し、路線ごとの実施について検討する。清掃時期などが場合には、上流に位置する自治会と連携をはかり、効果的な清掃に努める。

問　学校の不審者対策について問う。

答　**教育総務課長**　年に1度、各学校では、対応している。今後、より一層危険意識をもって、防犯対策に努める。

問　多目的公園施設にソフトボール用の壁打ちの設置を問う。

答　**新市街地整備課長**　多目的競技場では、野球やサッカーの使用に供している。新たなスペースの確保が出来ないため難しい状況だ。

排水路の現状

鈴木　勉（無所属クラブ）

Q 町直営リハビリ・デイサービスを
A 先進的事例として研究したい

問　介護保険の要支援者や要介護１、２の方など、軽度要介護者の重度化を減らし、介護度を低下させていくことが重要である。そこで、理学療法士や作業療法士など専門職を雇用し、町直営の介護予防、認知症予防、リハビリに特化したデイサービス事業を開設して、機能回復、介護予防を進めていくことが有効である。町の見解は。

答　**住民ほけん課長**　軽度要介護者の重度化を減らし、介護度を低下させることは重要と認識している。先進的な事例として研究の必要がある。理学療法士等の雇用や実施場所の確保など検討課題があり、実施について現状では考えていない。

問　リハビリに特化したデイサービス事業の必要性、意義について、どう認識しているか。

答　**住民ほけん課長**　現状のデイサービスの発展的な部分を今後考えていく必要がある。

問　介護保険の居宅サービスの６割程度（約３億円）が通所介護、通所リハビリなどデイサービスに利用されている。リハビリに特化した機能回復を重点的に進めるデイサービスがあれば全体的な効果がある。町長の先進的な取り組みをしていく決意は。

答　**町長**　介護の部分をしっかり町が考えることは大切なこと。今後、どのような形で進めたらよいか総合的に検討していきたい。

介護保険の居宅（住宅）サービスのうち、最も利用の多いデイサービス

吉田　俊一（日本共産党）

Q 町北部の交通不便地域対策を急げ
A 重要課題の一つと認識している

問　昨年9月議会で高齢者の移動手段の交通問題を質問したが町の取組みは。高齢者世帯の中で困っている人や、今は大丈夫だが近い将来は不安な人が大勢いる。役場や公民館等を利用する時に交通手段がない不満など、町は認識しているのか。

答　**企画財政課長**　近隣でデマンド交通を開始した白岡市の状況、国が主催した地域交通問題セミナーに参加し情報収集を行ってきた。地域の足を確保することは、重要課題と認識している。

問　先日、地域住民と、柏市の交通不便地域（沼南地域）で実施している、オンデマンド交通・予約制の乗合タクシー事業を視察してきた。東京大学の研究グループが開発したシステムを利用しており、従来のデマンド方式よりも、サービス面、コスト面でも大きく改善がされている。町も調査を行い、実施せよ。

答　**企画財政課長**　事業を実施するには、継続できるかどうかの財政面や、他の政策的課題との優先順位などの検討が必要と考えている。

問　高齢者の移動手段、外出支援や健康づくりと結びつけた公共交通対策は町として重要だ。北部の交通不便地域の対応を先行して実施せよ。

答　**町長**　高齢者の移動手段である交通問題は、町全域の課題だ。現在、町北部地域を念頭に旧金杉小跡地の土地利用も含めた検討をしている。

実施エリア		沼南地域
事業内容	事前登録	あり
	予約方法	２時間前まで可能
	運行	自宅付近（登録地点）から目的地（登録地点）
	到着時間	指定可能・10分内
	利用料金	300円・500円
	支払い	現金
	契約先	タクシー会社　1社
	車両	セダン・２台
年間予算（全体）		900万円
予算内訳		予約システム（300万円）、運行業務（600万円）

柏市の
オンデマンド交通

佐藤　永子（自民の会）

Q 子どもたちが健やかに育つには

A 子育て支援の計画に基づいて実施

問　子どもたちが健やかに生まれ、育ち、安心して子育てができるまちづくりに取り組んできたが、今後の具体的な取り組みと現状、課題について伺う。

答　**福祉健康課長**　子どもや子育てを取り巻く環境を踏まえて、孤立しがちな親子に対する支援や、働く母親とその子どもへの支援、教育・保育施設の設置や地域子ども、子育て支援事業など計画に基づいて進めている。

問　子育てを支える町の具体的な支援と、仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備や保育ニーズに対応する自治体の取組は。

答　**福祉健康課長**　子育てにかかる親の経済的、精神的負担の軽減を図り、子どもの健やかな発育や発達を支援していくことは町の役割だ。具体的には、母親並びに乳幼児の健康の確保・増進・未就園児とその家庭に対する支援・要保護児童のきめ細やかな対応、安全・安心な環境の整備等である。

問　女性が輝き活躍する社会の実現に、国、地方、企業が一体となって目指す時、町としての取組みや現状はどうか。

答　**企画財政課長**　町は１つの指標として各審議会での女性の登用する目標は40％としている。女性の参加する機会の拡充に努めていく。

委員会報告 見る・聞く・動く

道路、橋の安全対策現地確認

（総務産業常任委員会）

平成27年４月27日に実施した調査は、①交通安全対策の現状、②老朽化がすすむ橋の対策をテーマに行った。

交通安全対策は、平成26年に死亡事故のあった地点で、町が実施した路面標示などの安全対策を確認した。橋の老朽化対策は、対応の基準について説明をうけ、現地確認をした。今年、修繕が実施される赤岩橋は、損傷が激しいらんかん部分つけかえ、道路部分のアスファルトの打ち直しを行い、橋機能の現状維持が計られる。

赤岩橋

ふれあい橋手前カーブ

社会に居場所が見つからない若者たちを応援しています

（文教民生常任委員会）

平成27年４月30日にNPO法人さいたまユースサポートネット代表理事「青砥 恭」氏をお迎えして講演会を開催しました。

『社会に乗れない、機会もない中で生きている子どもに、優しさや他者との寛容性を教えるのは、学校、大人、地域の役割です。自己肯定感や自尊感情を回復させるには、安心して過ごす居場所、健全な仲間のいる環境を作る必要があります。』

青砥氏のお話を糧として、これからの議員活動に生かしていきます。

まつぶし議会だより 第90号
平成27年7月27日発行

傍聴・感想 ありがとうございました

6月議会・傍聴者数

6月 5日	2名
6月 9日	5名
6月10日	4名
6月11日	6名
6月15日	2名
合計	19名

傍聴者の声

（抜粋です）　（敬称略）

○ デマンドタクシーは松伏でも実現できそうな例だと思いました。高齢化が進む中で、買物の店もない状態で不安を覚えます。高齢者、特に北部地域に住む人々にもっと目を向けて下さい。（浦沢）（窪谷）

○ ありとあらゆる災害リスクが想定されるが、災害対策の充実には引続き万全を期して頂きたい。（東城）

○ みんなの支えサービスがようやくスタート、地域内のちょっとした困り事も含めて順調に運営して頂けるとありがたい。（東城）

○ 傍聴席のイスをどうにかしてほしい。長時間は苦痛である。（白鳥）

児童館「でんしゃであそぼう」

【編集後記】 荘子　敏一

選挙権年齢が「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げる公職選挙法改正案が可決されました。これにより、18、19歳の未成年者が新たに有権者になるのはすでにご承知だと思います。私たち議員が作っている議会広報は、この若い方々に読んでいただけるものなのか。また、読んで議会の様子を理解していただけるのか。手探り状態で編集作業を進めています。若い方の率直な感想をお聞かせ願えれば嬉しいです。

議　長　山﨑　善弘
議会広報発行特別委員会
委員長　高橋　昭男
副委員長　広沢　文隆
委　員　佐々木ひろ子
委　員　鈴木　勝
委　員　荘子　敏一
委　員　松岡　高志
委　員　鈴木　勉

発行　松伏町議会　編集　議会広報発行特別委員会
住所　〒343-0192　埼玉県北葛飾郡松伏町大字松伏2424番地　048(991)1810(直通)

表紙の写真：ちびっ子ランド児童館の遊具